

市誌編さんだより Vol.3

「高浜市誌 第二巻」の編さんから約40年。本格的に市誌編さん事業がスタートしました。奇数月の1日号にて編さん状況を紹介しています。

今回は、生活誌部会の「聞き書き」調査と文化財部会の資料調査についてお伝えします。

◆生活誌部会 聞き書き調査

Vol.2でもお伝えしましたが、聞き書き調査では、「暮らし」・「想い」など資料から読み取ることのできない高浜の歴史について、市民の記憶から紐解いています。

8月～9月に、吉浜地区の「養鶏」と、高取地区の「暮らし」に関する調査を行いました。

名古屋市立大学の大学生が中心となって調査を行い、養鶏の歴史や、三河地震など、たくさんのエピソードを語り手の方から伺うことができました。また、高校生が調査現場の映像撮影をしたり、語りのなかで大学生がわからないことについては、市民の調査協力員が解説をする、といったようすも見られ、多世代の交流の場となりました。

9月24日には、養鶏に関する聞き書き調査に協力いただいた3人の方をゲストスピーカーに迎え、『タカハマ！まるごと宝箱「吉浜の養鶏」-これまでとこれから-』を開催し、さらに深い話を聞くことができました。

今後は、いよいよ原稿の編集作業を行います。市誌の原稿執筆を大学生がメインに行うことはほかに類をみない取り組みです。完成原稿をお楽しみに！！



●文化財部会資料調査

文化財部会は、市内に存在する貴重な仏像・絵画・彫刻・建造物などを調査し、記録を残す部会です。8月に行われた第1回目の調査では、市指定文化財「高浜湊図」をはじめとする春日神社が所蔵する絵馬の調査を実施しました。調査員が保存状態のチェックや採寸を行うとともに、神社関係者や同行した方から絵馬に関する話も伺うことができました。

春日神社には、これ以外にも絵馬が数多く奉納されており、なかには高浜市の歴史を物語る貴重な図が描かれたものもあります。文化財部会の調査は、今わかっている文化財の現況を確かめることはもちろんですが、まだ知られていないけれど、高浜市にとって大切な、守り・伝えなくてはならないものを発掘していくことも重要な使命です。



◇今回の市誌は、専門家の調査だけでなく、市民の調査協力員や大学生・中高生と、聞き書き調査・執筆を行います。また、自宅などに高浜市に関する資料(特に明治時代～昭和まで)がありましたら、ぜひ情報をあればお寄せください。

◇市誌編さん事業に関する詳しい内容は、市公式ホームページの「文化スポーツグループ」のページで紹介しています！